

平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年10月4日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケーヨー

コード番号 8168

URL <http://www.keiyo.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長

(氏名)醍醐 茂夫

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役社長室長

(氏名)実川 浩司

(TEL) 043-255-1111

兼財務・コンプライアンス担当

四半期報告書提出予定日 平成28年10月7日

配当支払開始予定日

平成28年11月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年2月期第2四半期の業績（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	77,925	△5.2	1,075	73.7	1,558	41.9	876	—
28年2月期第2四半期	82,198	△10.5	619	△63.4	1,098	△47.4	7	△99.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	16.68	—
28年2月期第2四半期	0.14	—

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
29年2月期第2四半期	86,514	33,263	33,263	32,794	38.4
28年2月期	86,809	32,794	32,794	32,794	37.8

（参考）自己資本 29年2月期第2四半期 33,263百万円 28年2月期 32,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	6.25	—	6.25	12.50
29年2月期	—	6.25	—	—	—
29年2月期（予想）	—	—	—	6.25	12.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年2月期の業績予想（平成28年3月1日～平成29年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	△4.9	1,100	587.1	2,100	87.7	1,000	—	19.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年2月期2Q	59,476,284株	28年2月期	59,476,284株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	6,903,607株	28年2月期	6,903,243株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年2月期2Q	52,572,792株	28年2月期2Q	52,573,537株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成28年10月6日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成28年3月1日～平成28年8月31日)におけるわが国経済は、政府の経済対策等を背景に企業収益や雇用情勢は緩やかな回復基調で推移していましたが、新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱等に伴う不安定な国際情勢の影響から、円高・株安が進むなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。小売業界におきましても、雇用・所得環境の改善が個人消費に直結せず、さらに、業態間、企業間の品揃え、価格競争も一層激しさを増している中、当社を取り巻く環境は依然として厳しい状況となっております。

そうした中、当社におきましては、平成33年2月期を目標到達年度とする中期経営計画に沿って、既存店の抜本的な改善策として、商圈環境や規模に合った品揃えを構築し、坪あたりの売上高の改善を図りながら、かつ荒利益を重視する戦略をとってまいりました。また、折込チラシやテレビCMなど広告宣伝費の見直しを行い、販売促進費の効率化を図りながら、「ゴールドデンウィークセール」や「創業64周年セール」、「決算セール」等による集客も引き続き行ってまいりました。

販売拠点の強化につきましては、3月に宮野木店(千葉県千葉市)、柏の葉公園店(千葉県柏市)の2店舗を出店したほか、7月に「ペットと園芸の専門店」ケーヨーデイツーペット&グリーンみろく寺店(神奈川県藤沢市)を業態転換しオープンいたしました。この他、矢野目店(福島県)、塩山店(山梨県)、取手店(茨城県)、ひなた山店(神奈川県)、熊谷店(埼玉県)、唐木田店(東京都)の6店舗の全面改装を実施し、既存店の活性化を図ってまいりました。一方、不採算店の整理にも取り組み5店舗を閉店いたしました。これにより、当第2四半期会計期間末の店舗数は183店舗となりました。

以上のような取り組みの結果、当第2四半期累計期間の業績は、

売上高	779億25百万円	(前年同四半期比 5.2%減)
営業利益	10億75百万円	(前年同四半期比 73.7%増)
経常利益	15億58百万円	(前年同四半期比 41.9%増)
四半期純利益	8億76百万円	(前年同四半期比 8億69百万円の増益)

となりました。

荒利益を重視する戦略により荒利益率の改善を図るとともに、経費の削減を行い営業利益の改善をすることができましたが、夏の天候不順等の影響もあり、売上高が前年を下回る結果となりました。今後は、売上高と荒利益率のバランスを取りながら、さらなる業績改善を図ってまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は865億14百万円となり、前事業年度末に比較し2億94百万円減少いたしました。主な要因は商品8億90百万円、差入保証金7億45百万円、現金及び預金6億72百万円の減少と一方、建物6億44百万円、土地4億44百万円、有形固定資産のその他7億60百万円の増加などによるものです。

負債合計は532億51百万円となり、前事業年度末に比較し7億63百万円減少いたしました。主な要因は長期借入金の返済28億30百万円、短期借入金14億55百万円の純減と一方、長期借入金の調達5億0百万円、支払手形及び買掛金11億2百万円、未払法人税等4億86百万円、固定負債のその他8億82百万円の増加などによるものです。

純資産合計は332億63百万円となり、前事業年度末に比較し4億69百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益8億76百万円の計上と一方、剰余金の配当3億28百万円、その他有価証券評価差額金1億46百万円の減少などによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は前事業年度末に比べ6億72百万円減少し、8億92百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益14億8百万円に仕入債務の増加額11億2百万円、たな卸資産の減少額8億90百万円、減価償却費6億38百万円を加算し、売上債権の増加額1億56百万円を減算するなどして全体では45億84百万円の収入(前年同四半期は42億41百万円の収入)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出10億2百万円、敷金及び保証金の差入による支出37百万円と一方、敷金及び保証金の回収による収入5億29百万円などにより8億67百万円の支出(前年同四半期は59百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出28億30百万円、短期借入金の純減少額14億55百万円、配当金の支払額3億26百万円と一方、長期借入れによる収入5億0百万円などにより43億89百万円の支出(前年同四半期は42億98百万円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月5日に公表いたしました平成29年2月期の業績予想につきましては修正を行っております。詳細につきましては、平成28年9月30日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を適用し、第1四半期会計期間より、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物の減価償却方法について、定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,564	892
受取手形及び売掛金	961	1,118
商品	33,607	32,716
その他	4,086	4,347
流動資産合計	40,219	39,075
固定資産		
有形固定資産		
建物	23,136	23,780
土地	10,189	10,634
その他	13,080	13,840
減価償却累計額	△26,218	△26,490
有形固定資産合計	20,188	21,765
無形固定資産		
1,452	1,452	1,860
投資その他の資産		
投資有価証券	10,759	10,466
差入保証金	12,168	11,422
その他	2,541	2,422
貸倒引当金	△433	△411
投資損失引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	24,949	23,814
固定資産合計	46,589	47,439
資産合計	86,809	86,514

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,053	16,156
短期借入金	2,472	1,016
1年内返済予定の長期借入金	5,310	5,275
未払法人税等	163	649
店舗閉鎖損失引当金	380	27
資産除去債務	22	21
その他	4,186	5,020
流動負債合計	27,589	28,167
固定負債		
長期借入金	20,052	17,757
退職給付引当金	4,177	4,240
役員退職慰労引当金	4	4
資産除去債務	576	584
その他	1,615	2,497
固定負債合計	26,425	25,083
負債合計	54,014	53,251
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,948	14,948
資本剰余金	12,595	12,595
利益剰余金	6,977	7,525
自己株式	△3,996	△3,996
株主資本合計	30,524	31,072
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,413	2,267
繰延ヘッジ損益	△143	△76
評価・換算差額等合計	2,270	2,191
純資産合計	32,794	33,263
負債純資産合計	86,809	86,514

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	82,198	77,925
売上原価	59,891	55,813
売上総利益	22,307	22,112
販売費及び一般管理費	21,688	21,036
営業利益	619	1,075
営業外収益		
受取利息	52	43
受取配当金	129	131
受取賃貸料	626	566
その他	379	371
営業外収益合計	1,187	1,113
営業外費用		
支払利息	121	126
賃貸収入原価	539	485
その他	47	18
営業外費用合計	708	630
経常利益	1,098	1,558
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	36	21
店舗閉鎖損失	140	92
減損損失	345	24
その他	12	12
特別損失合計	535	151
税引前四半期純利益	563	1,408
法人税、住民税及び事業税	482	528
法人税等調整額	73	2
法人税等合計	556	531
四半期純利益	7	876

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	563	1,408
減価償却費	678	638
のれん償却額	76	76
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44	△22
退職給付引当金の増減額(△は減少)	130	63
受取利息及び受取配当金	△181	△174
支払利息	121	126
減損損失	345	24
固定資産売却損益(△は益)	△0	—
固定資産除却損	36	21
店舗閉鎖損失	140	92
売上債権の増減額(△は増加)	△392	△156
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,946	890
仕入債務の増減額(△は減少)	1,641	1,102
その他	△669	609
小計	4,393	4,700
利息及び配当金の受取額	132	133
利息の支払額	△124	△129
法人税等の支払額	△161	△120
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,241	4,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△215	△1,002
有形固定資産の売却による収入	0	—
資産除去債務の履行による支出	—	△11
敷金及び保証金の差入による支出	△72	△37
敷金及び保証金の回収による収入	502	529
その他	△155	△344
投資活動によるキャッシュ・フロー	59	△867
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,196	△1,455
長期借入れによる収入	—	500
長期借入金の返済による支出	△2,537	△2,830
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△236	△277
配当金の支払額	△327	△326
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,298	△4,389
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2	△672
現金及び現金同等物の期首残高	2,009	1,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,011	892

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。